

成長ダイアリーの活用の手引き

1 何のためのもの？

子どもの成長・発達はその子によって大きく異なります。子どもへの支援は小さい頃からの資料を基に「支援をつなぐ」事が大切になります。

成長ダイアリーはご本人に関するさまざまな情報を周囲の人に伝え、家族や学校、その他支援者と一緒に成長と発達を確認・共有しながら、障がいのある方についての共通の理解を持ち、本人への支援をスムーズに行い、安心して生活していけるように、支援者との相談・支援がスムーズにできるようにするための情報共有ツールです。

例えば担任の先生が変わったとき、小学校から中学校へ、中学校から高校へ、就職をする時…その方の育ちや個性を一から理解していく事はとても時間がかかり、労力が必要になります。

成長していく過程（ライフステージ）での、本人に関する情報、一日の過ごし方、医療的ケアの状況、家庭での過ごし方、地域における支援のネットワークなどを記入し、家族以外の人に関わる時に必要な情報を伝え、就学や進級・進学、福祉サービス事業所を使うなど生活の場面や関わる人が必要な時に、スムーズなバトンタッチができるよう使いましょう。

成長ダイアリーなどのサポートブックを作っておくことで、その人にとって必要な情報が引き継がれることで、それぞれの状況に応じた支援を受けやすくなります。

今は高校や大学、企業もその人がどんな人で、どんな育ちをしてきたか、どんな支援を受けてきたか、どんな支援が必要かなどといった情報を欲しがる時代になってきているため、「情報をつないでいく」ということがとても重要になってきています。

2 どんな人が作れるの？

上伊那郡にお住まいで、本人または保護者が作成を希望した人で、次の項目に該当した人です。

- ① 発達障がいや発達特性があり、支援が必要な人
- ② 知的・身体障害や重症心身障害があり、支援が必要な人
- ③ 障がいなどはないが、子どもの記録を作成したい人

3 どうやって作ればいいのか？ どうやって書けばいいのか？

- ① きらりあのホームページ→資源マップのページからダウンロードができます。
URL <http://park20.wakwak.com/~kiraria/shigenmap.html>
 - ② 内容を記入していきます。はじめから全てを詳しく書く必要はないので、書けるところから始めてみてください。
 - ③ 支援方法についてはできるだけ具体的に書くことで誰が見ても分かりやすくなります。
 - ④ 記入の仕方が難しい場合は保育園の先生や学校の先生、市町村の保健師さん、子ども相談担当、教育委員会等へ書き方や小さい頃の記録について相談をしてください。
- ※ 駒ヶ根市に関しては「結 ing」という情報共有ファイルがありますので、子ども課の窓口へご相談ください。

4 どんな時に作ればいいのか？

どんなタイミングで作ってもらっても良いものです。以下の①～③のタイミングで作るとより効果的に活用することができます。

- ① 就園・就学・進学・就職など生活の環境が変わる前
- ② リハビリテーションや医療的ケア、在宅医療サービス（訪問介護など）などを始めるとき
- ③ 児童発達支援や放課後等デイサービスなどの福祉サービスを利用するとき

5 どんな時に使えばいいの？

①【まとめる】

母子手帳や通知表や発育の記録、個別の支援計画などお子さんに関する書類をまとめておくのに使えます。

②【振り返る】

懇談会などを活用して、学校と家庭とで今のお子さんの状態を定期的に振り返る時に使って下さい。

③【伝える】

ファイルを見てもらうことで一から状態を説明をする手間を省くことができます。

例：学校が変わった時、担任の先生が変わった時、病院に係る時、福祉のサービスを利用する時、就職をする時「このファイルを見てもらえれば、この子の様子がまとまっています」

④【災害時】

災害時に避難所などで支援者に提示することで、外見だけではわかりにくい特性を支援者にすぐに知ってもらうことができます。

6 使うとどんな良さがあるの？

① 毎回同じような説明をしなくて済みます。

② 後で「あの時どうだったかな？」と振り返る手掛かりになります。

③ 進学、就職した時、過去の支援の記録が非常に役立つことが多くあります。

④ 将来障害年金を取得することになった場合、これまでの本人の状態をまとめることになります。その時の手掛かりとしても活用できます。

7 個人情報について

成長ダイアリーには個人情報などの大切な情報が沢山書かれています。取扱いには十分注意をしてください。

成長ダイアリーは本人または保護者が許可した支援者のみ見ることができます。「利用できる機関」の欄に閲覧、複写・転載、記入をすることができる機関を記入をしてください。特に Excel ファイルでの入力を行っている場合には、特に注意をお願いします。

また、お家の管理が難しい場合には「管理できる機関」の欄に記入をし、管理を支援者をお願いすることもできます。

8 追加シートについての説明

今年度成長ダイアリーの改定に合わせて、追加で利用できるオプションシートを付け加えました。以下にそれぞれのシートについての説明を載せてありますので、必要に応じてダウンロードし、ご利用下さい。なお、(1)～(3)はそれぞれ、参考とさせていただいているものを基にさせていただいています。

(1) 医療的ケアの状況①②・生活の様子・一日の流れ

重症心身障がいや医療的ケアが必要な方の状態を記入するためのものとなります。日にちを必ず記入の上、最新版がファイルされているようにしてください。

生活の様子や一日の流れについては必要に応じてどなたでもご利用いただけます。

※「平成 26 年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業

在宅重症心身障害児者を支援するための人材育成プログラム開発事業

在宅重症心身障害児者サポートブック」より部分引用させていただきました。

(2) 連絡票

学校から医療へ、医療から保育園へ、放課後等デイサービスの事業所から学校へ、など支援機関同士での連絡が必要な際にご利用ください。

※県立子ども病院リハビリテーション科が作成した「個別支援手帳」から部分引用させていただきました。

(3) 私の現在の生活マップ・まとめシート (ICF 版・アレンジ版)

現在の状態を一枚にまとめることができるシートです。3種類ありますが、支援者の方と相談して使いやすい書式を選んでください。保育園から小学校、小学校から中学校といった生活する場が大きく変わるタイミングや、関わる支援者が変わる際に、作っていただくことで現在の状態や支援の必要な要点を伝えやすくなります。

※長野県作成の「わたしの成長・発達手帳」の様式となります。資源マップのページリンクから「わたしの成長・発達手帳」のページでダウンロードができます。